

陸上競技（短距離）プログラム報告 2014年11月22日（土）中村 泰雄

十一月も下旬ともなれば気温は冬の暖かい日と云ったところ。昨日の excite のスポーツ天気予報では、今朝九時の川口陸上プログラムの会場、県民健康福祉村付近の天気は『北北西の風2m 晴れで、気温は10℃』となっていました。明けて今朝六時の気温は5.2℃。これは寒いプログラムになるかと思いましたが、予感の良い方に外れて、練習開始の十時には予想を3℃上回る13℃。風も穏やかで、申し分ないプログラム日和になりました。

ウォーキング中の植物見物ではユズリハを見てもらいました。新しい葉の成長後に古い葉が落ちるので、親が成長した子供に後を譲るのにたとえて、おめでたい木とされ、正月飾りにされます。

雌雄異株で、六月ごろに花が咲き、十月から十一月ごろに実を結びます。と云う事で、今がちょうど実が熟す頃と云うわけです。福祉村ではジョギングコースの250m表示の傍に2本のユズリハの木が並べて植えてあります。片方が雌で片方が雄かと思っただのですが、両方の木に実が付いていました（残念）

私はウォーキングのスタートを見送ってから、サイクリング・コースを自転車で植物見物の現場に向かいました。現場はウォーキングのスタートラインから三百メートルと一寸の所です。此処に到着して後ろを見ると先頭のTMさんが30?の近さに接近していました。後続も続々。

私は一行にユズリハの木とその実を示して、雌雄異株の木の植え方の講釈です。

実が欲しい場合（キウイフルーツ、サンショウ、パパイヤ等）は雌の木の近くに雄の木を植えますが、イチヨウ並木には雄の木だけを植えるのです。これはその実（ギンナン）の酷い匂いを嫌い、雌の木に雄の木を近づけないようにしているのです。

こんな話をしているうちに思わぬ時間を使い、五分を遥かに過ぎてしまいました。長居は無用と再スタートしてもらいました。

ウォーキング後は何時も通りに二千を走り、その後種目別に分かれ、短距離グループは東に移動し、冒険広場横の下り坂を利用して、ここ数回続いているフォーム改造に取り組みました。

そして十一時四十分に芝生広場の西端に戻り、長距離グループと一緒に、整理運動の後、SON埼玉のエールで思わぬ好天の川口陸上プログラムをメました。